久寺家中学校区　小中一貫教育グランドデザイン

中学校区の実態
〇郷土への関心が薄い。
〇基本的な学力のある児童・生徒が多い。
　チャレンジ力やたくましさには欠ける。
〇心が優しい児童・生徒が多く，穏やか。

重点
●郷土愛を育む。
●新しいことに進んで取り組む。
●発信力の育成。

目指す 15 歳の姿

郷土（ふるさと）を愛し，
２１世紀をたくましく生きる
豊かな心と確かな学力を持った子

我孫子市小中一貫教育の目指す子ども像
〇ふるさと我孫子を愛し，誇りに思う子ども（郷土愛）
〇確かな学力を身につけ，夢を持ちチャレンジする子ども（未来を拓く力）
〇自分に自信を持ち，自他を大切にする子ども（輝く心）

保護者・地域の願い
〇自分や相手に優しい人であって欲しい。
〇たくましさを身につけ，どんなことにもチャレンジする人になって欲しい。

並木小学校教育目標
未来を見つめ　今を生き抜く並木っ子
心やさしく　かしこく　たくましい
子どもの育成

久寺家中学校教育目標
これからの社会を生き抜く
たくましい力と豊かな心をもった生徒の育成

根戸小学校教育目標
よく遊び　よく学び　思いやりのある子

環境でつなぐ

【生活の約束】
　中区で「生活の約束」を共有し，発達段階に応じた約束を作成する。
【学習の約束】
　中区で「学習の約束」を共有し，発達段階に応じた約束を作成する。

学習でつなぐ

【キャリア教育】
　初期では町探検，前期では校外学習，中期では職業人の話を聴く会を通して、後期では自分の良さを活かす未来を実現する主体的な進路選択を目指す。
【ふるさと教育】
　中期・後期において「ふるさと我孫子の先人たち」の学習をする。
【福祉教育】
　久寺家中区では，「つながる　広がる　支えあう　～優しい街　久寺家～」をテーマに中区のオリジナルカリキュラムを作成・実施している。福祉に関する体験と地域への関心を高め，他者を思いやる気持ちや態度を育む活動を通じ，互いを尊重し支えあう児童生徒の育成を目指す。

人でつなぐ

【児童生徒の交流】
　毎年１月の最終木曜日を「小中一貫の日」と設定し，生徒会主体の会を開いたり，学習・部活動の体験をしたりする。
　特別支援３校合同交流会を実施している。一緒にボッチャを行い、交流を深めている。
【職員の交流】
　３校合同の教育ミニ集会，不祥事根絶研修会を実施する。

小中一貫教育推進協議会
校長・教頭
教務主任・研究主任・生徒指導主任
特別支援コーディネーター

地域・保護者との連携
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
ＰＴＡ
地域学校協働本部

教務チーム
①目指す児童・生徒像の共有
②学びの系統性カリキュラムの作成・実施
③教育ミニ集会の実施

研究チーム
①学力，体力の向上
②研究，研修，授業の交流と参観
③小中一貫の日の企画運営

生徒指導チーム
①いじめ防止対策
②指導項目・内容の共通理解
③不祥事根絶研修会の実施

特別支援チーム
①個別の支援計画の引き継ぎ
②合同交流会の充実